

第16回

岡山県
内田百閒
文学賞

文学紀行

受賞作品ゆかりの地を訪ねて

岡山県内田百閒文学賞は、岡山が生んだ名文筆家、
内田百閒の生誕100年を記念して創設された文学賞です。
“岡山にゆかりのある”文学作品を募集し、今回で16回目を迎えました。
今回応募のあった303編の中から受賞作品3編を決定しました。



雪舟が涙で描いた
ねずみの物語

最優秀賞

アニマの肖像
ゆきかわ ゆう



誘う物語
万葉集の世界へ

優秀賞

児島の梅
鷺見 京子



岡山大空襲の
記憶が蘇る作品

優秀賞

ももちゃん
須田 地央

\\ 受賞作品は作品集として刊行しています！ //

受賞作品集 販売中!

受賞作品3編と最終審査委である小川 洋子氏・
平松 洋子氏・平松 洋子氏の選評を収録!

販売
場所

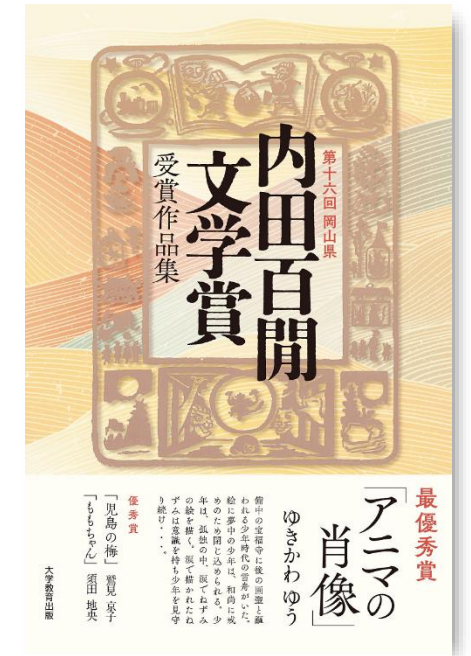
- ・全国の書店
- ・Amazon
- ・楽天ブックス
- ・(公財)岡山県郷土文化財団

販売価格

1,320円(税込)

仕様

四六判/144ページ



\\ 過去の受賞作品集も販売中! //



岡山県郷土文化財団HPの
作品集紹介・販売ページは
こちらから▶



第17回

岡山県 内田百閒文学賞 作品募集中!

賞金

最優秀賞1編

100万円

優秀賞2編

各20万円

締切

令和6年

5/31(金)

当日消印有効

募集作品

岡山にゆかりのある内容の随筆及び短編小説(評伝・紀行文・
戯曲を含む)とし、日本語で書かれた未発表のオリジナル作品。
テーマは、岡山が舞台となるものや、岡山県出身の人物・自然・
文化・風土・物産などを題材とした作品。

募集詳細については
こちらから▶



問合せ先

(公財)岡山県郷土文化財団 文学賞係
住所: 〒700-0822 岡山市北区表町1-7-15 702号
TEL: (086)233-2505 FAX: (086)232-4329
mail: o-bunka@utopia.ocn.ne.jp

内田百閒文学賞HPは
こちらから▶
(岡山県郷土文化財団HP内)



アニメの肖像

ゆきかわゆう

雪舟が涙で描いた
ねずみの物語

あらすじ

備中の宝福寺に後の画聖と謳われる少年時代の雪舟がいた。絵に夢中の少年は、和尚に戒めのため御堂に閉じ込められる。少年は、孤独の中、涙でねずみの絵を描く。涙で描かれたねずみは意識を持ち少年を見守り続け……。

PLACE OF STORY
ゆかりの地

01

井山宝福寺

総社市井尻野



仏殿 (国指定登録有形文化財)

宝福寺は臨済宗東福寺派の中本山で、西国布教の一拠点として、地方のなかでも有力な禅宗寺院の一つに数えられています。寺伝によると創立年代は不明ながら、日輪大阿闍梨を始祖とする天台宗の古刹であったものを、鎌倉時代の1282(貞永元)年に当時の住職であった鈍庵和尚がこの地に新しく伽藍を建立したと伝えられています。

現存する伽藍は東面し、山門・仏殿・三重塔を一直線に配し仏殿の北方に庫裏・方丈を配しています。庫裏の東南方には鐘楼があり、方丈の西北方には禅堂が建っています。



境内にある雪舟の像



方丈 (国指定登録有形文化財)

わたしの身体の中には幾つもの意識が川のように流れています。それらは形を与えられることを求めています、時間の中で静かにうずくまっています……

とりわけ印象深かったのは一人の少年が生み出した一匹のねずみでした。そのねずみはかつて感じたことのないほどの情念でわたしの中に留まり、消えていきました。少年への強い思いがねずみを生かし続けたのです。

その他、経蔵・開山堂が広い寺域内に配され、本伽藍は地方にのこる近世禅宗寺院の代表的な遺構の一つとして注目されています。

雪舟が幼少の時、この井山宝福寺において涙で鼠を描き、和尚さんを大いに感心させたエピソードはあまりにも有名です。この逸話は江戸時代に書かれた『本朝画史』により伝えられる話です。

「井山宝福寺」HPより



三重塔 (国指定重要文化財)

少年が亡くなった。天寿を全うした。一人の泣いている少年を慰めなくては、その思いだけで幾万の夜を越えてきました。もう少年の涙の痕跡もなく、匂いもありません。ただ意識だけがそこに留まって生きてきました。しかしその少年がこの世の孤独から解放された。彼はもう苦しまずに済むのです。よかった。本当に、よかった。

MORE INFO

井山宝福寺

[住所]
〒719-1154
岡山県総社市井尻野1968
[Tel]
0866-92-0024

詳細はこちらから▶
岡山観光WEB
「井山宝福寺」ページ



秋は紅葉が綺麗!

児島の梅

鷺見京子

万葉集の世界へ
誘う物語

あらすじ

奈良時代、五流尊瀧院の麓で暮らす藻塩焼きの娘稲虫は、養父の死を機に、家族のため児島と名を変え、遊行女婦(うかれめ)として筑紫の国太宰府に赴く。美しい児島は太宰府で太宰権帥(だざいごんのそち)大伴旅人(おおとも)の出逢い……。

PLACE OF STORY
ゆかりの地

02

修験道総本山 五流尊瀧院 倉敷市林



熊野神社 (本殿：国指定重要文化財)

今から約1300年あまり前、修験道の祖・役行者が霊夢の導きにより児島に上陸し、ご神体を安置して新熊野三山を開き、その高弟5人が尊瀧院、太法院など5つの寺院を設けたのが五流の始まり。今なお正統修験の総本山だ。1221(承久3)年の承久の乱で配流された後鳥羽上皇の皇子、桜井宮覚仁法親王が新熊野校を兼ね下向され、続いて冷泉宮頼仁親王がこの地に庵を設け、五流尊瀧院の住職になられたという。後鳥羽上皇の遺骨を納めた石造宝塔は国指定重要文化財だ。

「まいられえ岡山」山陽新聞社より

それから二年、大伴旅人は、孫ほど歳の離れた児島を慈しみ、妻のごとく支えとしましたのじゃ。
旅人は、この地で果てるかと覚悟を決めていた矢先、なんと大和へ帰京することとなりました。
まこと都の政とは計れぬものにござりますなあ。

この物語では、五流尊瀧院で出会った手巾の尼と朱鷺が、二人(児島と大伴旅人)が離ればなれにならないように児島を大和に送り出す……。



三重塔 (岡山県指定重要文化財)

Pink Up!
万葉集に収録のゆかりの歌

倭道は雲隠りたり然れどもわが振る袖を無礼しと思ふな

児島

(第6巻966番)

(訳) 大和路は雲の彼方で雲に隠れてお目にかかれなくても、どうか私が袖を振ることを無礼だとは思わないでください

倭道の吉備の児島を過ぎて行かば筑紫の児島思ほえむかも

大伴旅人

(第6巻967番)

(訳) 大和への海路の途中、吉備の児島を通っていくと、筑紫に残した遊行女婦の児島のことと思われるだろうなあ

登場人物

稲虫(児島)・藻塩焼きの娘
朱鷺・孤児の少年
尼・手巾の尼

3人は、五流尊瀧院で行われたお日待大祭の施行で出会う。
やがて稲虫は児島と名を変え、遊行女婦として筑紫へ赴き、大伴旅人に会う。



石造宝塔 (国指定重要文化財)

MORE INFO

修験道総本山 五流尊瀧院

[住所]
〒710-0142
岡山県倉敷市林952
[Tel]
086-485-0027

詳細はこちらから▶
岡山観光WEB
「五流尊瀧院」ページ



優秀賞

ももちちゃん

須田 地央

岡山大空襲の
記憶が蘇る作品

あらすじ

街に出ると岡山大空襲の日のことがせん妄として現れる私は、部屋の中に引きこもっていた。しかし、ある時を境に、ももちちゃんという少女が部屋に遊びにくるようになる。岡山大空襲の前日、ももちちゃんに誘われついに私は家を出る。

PLACE OF STORY
ゆかりの地

03

西川緑道公園

岡山市北区



西川と桜並木

岡山市内中心部を南北に流れる西川用水とその支流の枝川用水の両岸を緑道として整備した公園である。北から西川緑道公園（上流）、西川緑道公園、枝川緑道公園の3つの区域に分けて整備された総延長約4キロメートルの緑豊かな緑道公園内には、噴水や水上テラスなどの修景施設や休養施設も配しており、散歩道として、また憩いの場として広く市民の方々に親しまれている。

公園内には、空襲当時の惨禍を回想して再び戦争の不幸を繰り返さないよう世界恒久の平和と郷土永遠の幸福を願う心の道標として、平和像が建立されている。

岡山市HP「西川緑道公園」より



公園内の平和像

やがて西川が見えた。すでに街は一面炎の海と化し、人々は西川の赤く染まった水面に次々と飛び込んでいた。「はよう、こっちへ」消防団の人が私と母に向かって手招きした。私が西川へ飛び込むと母も続いて川に入った。川に入っても熱風は強く、

焼夷弾が近くで落ちる度に消防団の人がバケツで水を撒いて私たちの顔や頭を冷やしてくれた。炎は空高く渦巻き、立ち上った黒煙は天まで届いていた。焼夷弾はつきることなく、雨のように降り注いでいる…。東の空に目をやると、岡山城が真っ赤に燃え上がっていた。

pick Up!

岡山市内に残る戦災の遺跡



岡山城石山門跡

天守閣とともに国宝に指定されていたが、空襲で焼失した。石垣に残る赤茶けた焼け跡が空襲の激しさを今に伝えている。
「市内に残る戦災の遺跡マップ」より



空襲で焼け残った岡山城月見櫓(左)と西手櫓 (右)

MORE INFO

岡山城

[住所]〒700-0823
岡山県岡山市北区丸の内2-3-1
[Tel] 086-225-2096

詳細はこちらから▶

岡山観光WEB
「岡山城」ページ



2022年11月
リニューアルオープン!



西側緑道公園

[住所]〒700-0023
岡山市北区南方1丁目
～清輝橋1丁目

詳細はこちらから▶

岡山観光WEB
「西川緑道公園」ページ

